

# 実 施 記 録

1. 日 時 平成28年6月25日(土) 13:30~14:20
2. 年 組 広島大学附属東雲中学校 第3学年2組 30名
3. 授業者 丸山 智 先生 (安芸太田町立戸河内中学校)
4. 教 材 2次方程式の因数分解による解き方 ~ジグソー法を用いて~
5. 本時の目標 2次方程式の因数分解による解き方を説明することができる



学 習 活 動	指導上の留意点 (◆評価)
<p>[全体] □ <math>x(x+6) = 7</math> の解を予想する。</p> <p>[エキスパート活動] □ グループ (ABC) ごとに資料を解読する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>資料A・・・数学用語「等式」「方程式」「解」「移項」                      資料B・・・<math>AB=0</math>ならば<math>A=0</math>または<math>B=0</math>                      資料C・・・2次方程式の解は2つある(代入で考える)</p> </div> <p>[ジグソー活動] □ グループごと (1つのグループにABC) に交流する。</p> <p>[クロストーク] □ 考えたことを全体に発表する。</p> <p>[全体] □ 本時の学習内容と今後の学習のつながりを聞く。</p>	<p>○ 自由な発想で考えさせる。</p> <p>○ グループに応じた対応・介入をする。</p> <p>○ グループごとの交流状況を把握する。 ○ 小黒板に記入させ、発表準備をさせる。</p> <p>○ 肯定的に評価する。 ◆ 理由を自分なりに考えることができているか。</p>



→14:30より、同じ本時の目標で、東雲中学校 天野が3年1組の生徒に一斉授業を実施した。

### 【協議会】(15:30~16:30)

1. はじめに (広島大学附属東雲中学校長 朝倉淳)      2. 授業者から
3. 講話 『今、求められる学力・能力 ~数学の授業の可能性~』 現 長野県総合教育センター主任指導主事 新井 仁 先生
4. おわりに (廿日市市教育委員会 岡寺裕史) / 諸連絡 (東雲中学校: 天野)

### 【参加者 (敬称略) 63名】

- 朝倉 淳 (広島大学大学院教育学研究科教授/広島大学附属東雲中学校長)
- 新井 仁 (長野県総合教育センター主任指導主事)      山本 光信 (広島大学附属東雲小学副校長)
- 砂原 徹 (広島大学附属中・高等学校副校長)      岡寺 裕史 (廿日市市教育委員会指導主事)
- 橋本 浩敬 (廿日市市教育委員会指導主事)      梶江 博史 (広島市教育センター指導主事)
- 三浦 義之 (広島市立国泰寺中学校長)      小林 伸行 (広島市立長束中学校長)
- 原田 康宏 (広島市立安佐中学校主幹)      田頭 かおり (広島市立観音中学校指導教諭)
- 富永 (附属中・高)      喜田 (附属中・高)      森脇 (附属中・高)      折口 (附属中・高)
- 藤原 (附属福山中・高)      甲斐 (附属福山中・高)      渡邊 (山口大学附属山口中)
- 丸山 (安芸太田町立戸河内中)      瀬沢 (安芸高田市立美土里中)      箱田 (福山市立千年中)      森田 (福山市立千年中)
- 脇本 (福山市立誠之中)      五十川 (福山市立東朋中)      奥野 (福山市立城南中)      菅 (福山市立城北中)
- 高島 (庄原市立総領中)      西森 (三次市立三和中)      塚迫 (大崎上島町立大崎上島中)      伊藤 (呉市立郷原中)
- 松井 (呉市立和庄中)      小林 (廿日市市立吉和中)      奥田 (尾道市立久保中)      笠井 (三原市立第四中)
- 柴田 (広島市立五日市中)      川口 (広島市立美鈴が丘中)      吉田 (広島市立瀬野川中)      河野 (広島市立宇品中)
- 馬場 (広島市立翠町中)      河内 (広島市立翠町中)      平 (広島市立翠町中)      郷谷 (広島市立似島中)
- 舛迫 (広島市立吉島中)      瀬川 (広島市立祇園中)      妹尾 (総社市立総社東中)      ほか、教育関係者・院生・本校教員

